

コミュニティバス運行結果

平成 2 3 年 1 0 月

鴨川市総務部企画政策課

[目 次]

<u>1 運行の概要</u>	1
<u>2 運行の実績</u>	2
(1) 路線別輸送実績	2
(2) 便別輸送人員	4
添 付	
鴨川市コミュニティバスパンフレット（A 3 版）	2 枚

1 運行の概要

運行の状況に関しては、北・南両ルートで1便ずつ運行時刻を変更したほか、平成21年度から平成22年度にかけての変更事項はない。（下表のとおり）

1) 運行概要

	路線名	運行区間	運行本数 (往復)	運行日数 (日)	キロ程 (k m)	停留所 (箇所)
1	北ルート	金山ダム～鯛の浦	3.0	365	20.29	
		金山ダム～鴨川駅西口	1.0	365	7.39	
		小 計	4.0	365	27.68	48 (※1)
2	清澄ルート	天津小湊支所～奥清澄	6.0	365	12.89	20 (※2)
3	南ルート	鴨川駅前～曾呂終点	3.0	365	26.80	
		太海駅～曾呂終点	3.0	365	9.50	
		鴨川駅前～浦の脇	1.0	365	4.05	
		小 計	7.0	365	40.35	54 (※3)
合 計			17.0	365	80.92	

(※1) 重複停留所数（南ルート：10、清澄ルート：2）

(※2) 重複停留所数（北ルート：2）、(※3) 重複停留所数（北ルート：10）

2) 運賃

	路線名	形態	運賃	特 例
1	北ルート	対キロ区間制	140 円～750 円	(半額) 小学生以下、身体障害者 手帳、療育手帳所持者 (無料) 未就学児童
2	清澄ルート	簡素化制	200 円・400 円	
3	南ルート	対キロ区間制	140 円～860 円	

3) 収支

項 目	H22 (千円)	H21 (千円)	比較増減	
			増減(千円)	増減率(%)
運行事業者(委託先)	鴨川日東バス(株)	鴨川日東バス(株)	—	—
運行費用	37,500	(※1) 32,915	4,585	13.9
運行収入	6,431	(※2) 2,324	4,107	176.7
差し引き	31,069	30,591	478	1.6
収益率	17.1%	—	—	—
乗客1人当たり市負担額	924 円	915 円	9 円	1.0

(※1) 平成21年4月～平成21年10月までの7ヶ月間は補助金、平成21年11月～平成22年3月までの5ヶ月間は委託料

(※2) 上記により、平成21年11月～平成22年3月までの5ヶ月間分

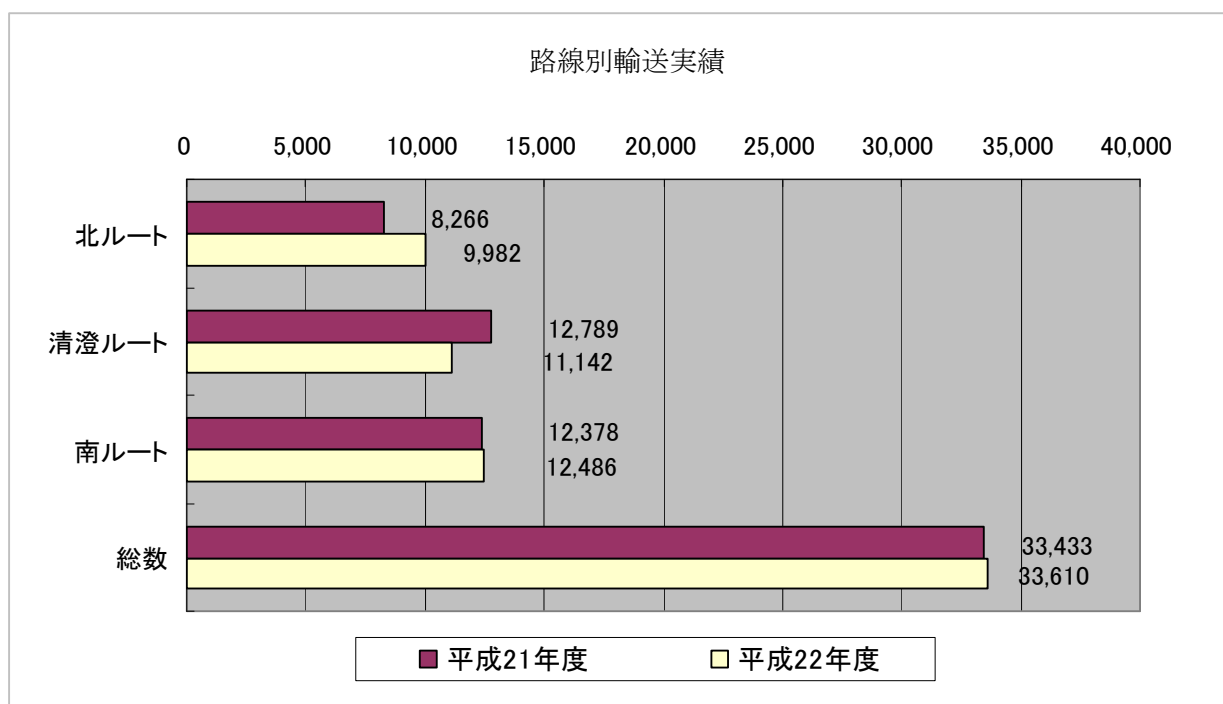
2 運行の実績

(1) 路線別輸送実績

1) 総輸送者数

平成 22 年度の輸送実績は 33,610 人で、平成 21 年度の 33,433 人を 177 人、率にして 0.5% の微増となった。

なお、路線別の輸送実績としては、北ルートが対前年度比 1,716 人、20.8% の増と、3 路線で最も利用者が増加し、南ルートについてはほぼ横ばい、また、清澄ルートについては 1,647 人、12.9% の大幅な減少となった。



○路線別輸送実績

	路線名	運行区間	H22 (人)	H21 (人)	比較増減	
					増減(人)	増減率 (%)
1	北ルート	金山ダム～鯛の浦	7,954	6,933	1,021	14.7
		金山ダム～鴨川駅西口	2,028	1,333	695	52.1
		小 計	9,982	8,266	1,716	20.8
2	清澄ルート	天津小湊支所～奥清澄	11,142	12,789	▲1,647	▲12.9
3	南ルート	鴨川駅前～曾呂終点	8,817	8,764	53	0.6
		太海駅～曾呂終点	3,120	3,074	46	1.5
		鴨川駅前～浦の脇	549	540	9	1.7
		小 計	12,486	12,378	108	0.9
合 計			33,610	33,433	177	0.5

2) 1 便当たり輸送人員

1 便当たりの輸送人員については、最も多いのが南ルート of 鴨川駅前～曾呂終点間で、平成 21・22 年度とも 4.0 人/便であった。

なお、平成 21 年度においては、次いで北ルートの金山ダム～鯛の浦間の 3.2 人/便、清澄ルートの天津小湊支所～奥清澄間の 2.9 人/便と続いていたが、平成 22 年度においては、北ルートの金山ダム～鯛の浦間の 3.6 人/便、金山ダム～鴨川駅西口間の 2.8 人/便と続く結果となった。

○年度別・路線別 1 便当たり輸送人員

	路線名	運行区間	運行回数 (往復)	H22 (人/便)	H21 (人/便)	増減 (人/便)
1	北ルート	金山ダム～鯛の浦	3.0	3.6	3.2	0.4
		金山ダム～鴨川駅西口	1.0	2.8	1.8	1.0
		小 計	4.0	3.4	2.8	0.6
2	清澄ルート	天津小湊支所～奥清澄	6.0	2.5	2.9	▲0.4
3	南ルート	鴨川駅前～曾呂終点	3.0	4.0	4.0	0.0
		太海駅～曾呂終点	3.0	1.4	1.4	0.0
		鴨川駅前～浦の脇	1.0	0.8	0.7	0.1
		小 計	7.0	2.4	2.4	0.0
合 計			17.0	2.7	2.7	0.0

3) 10 人以上の乗車実績

10 人以上が乗車した便数については、平成 21 年度では 71 便であったが、平成 22 年度では 99 便となり、平成 21 年度から 28 便、39.4%増加した。

路線別では平成 21 年度においては、北ルート、清澄ルート、南ルートの順であったが、平成 22 年度では、輸送人員が伸びた北ルートが約 5 割増の 43 便に増加したことはともかく、ほぼ前年度並みであった南ルートが 30 便と大幅な伸びを示しており、利用便の集中化が伺える結果となった。また、清澄ルートでは、需用に対処できない場合がある。

○10 人以上の乗車便数

	路線名	使用車両 (定員)	H22 (便)	H21 (便)	比較増減		最大乗車人員 (H22・H21)
					増減 (便)	増減率 (%)	
1	北ルート	日野ポンチョ (27)	43	28	15	53.6	(20 人・25 人)
2	清澄ルート	トミタハイエース (15)	26	26	0	0.0	(25 人・17 人)
3	南ルート	日野ポンチョ (27)	30	17	13	76.5	(30 人・35 人)
合 計			99	71	28	39.4	

(2) 便別輸送人員

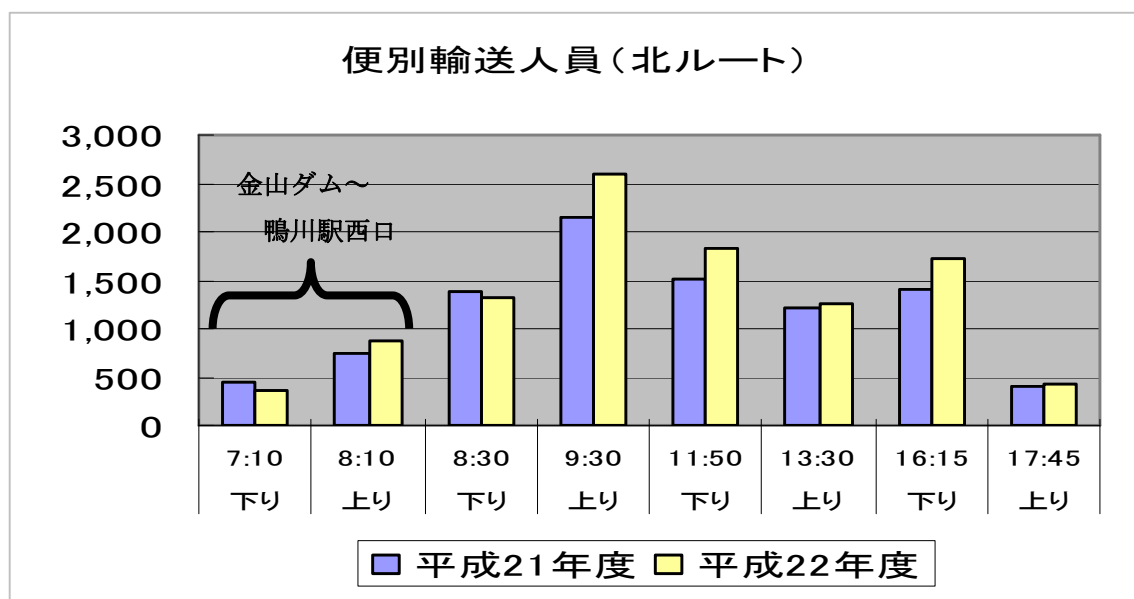
(※乗務員が記録した停留所別乗降人員を集計したもので、2ページの輸送実績の数値とは一致しません。)

1) 北ルート

本路線は、安房鴨川駅、安房天津駅及び安房小湊駅を経由し、鯛の浦と金山ダムを結節する路線であるが、下り 7:10 金山ダム発便は鴨川駅西口との折り返し運転になっている。

便別の輸送人員であるが、その下り 7:10 金山ダム発便が最も乗車人数が少なく、1 便当たりの輸送人員で、平成 21 年度が 1.2 人/便、そして平成 22 年度が 1.0 人/便と減少している状況にある。

なお、その他の便については、市街地を運行していること、各鉄道駅を結節していることに加え、ふれあいセンターや亀田病院などを経由していることから、増嵩しているが、鴨川日東バス(株)が運行する市内線(鴨川駅前～興津駅・行川アイランド)と競合する区間(坂下～誕生寺入口)を有しているため、その取扱いが問題である。



●輸送人員

	下り 7:10	上り 8:10	下り 8:30	上り 9:30	下り 11:50	上り 13:30	下り 16:15	上り 17:45
平成21年度	440	738	1,379	2,143	1,517	1,211	1,399	402
平成22年度	353	871	1,322	2,586	1,835	1,259	1,733	427
差し引き	▲ 87	133	▲ 57	443	318	48	334	25

●1便当たり輸送人員

	下り 7:10	上り 8:10	下り 8:30	上り 9:30	下り 11:50	上り 13:30	下り 16:15	上り 17:45
平成21年度	1.2	2.0	3.8	5.9	4.2	3.3	3.8	1.1
平成22年度	1.0	2.4	3.6	7.1	5.0	3.4	4.7	1.2
差し引き	▲ 0.2	0.4	▲ 0.2	1.2	0.9	0.1	0.9	0.1

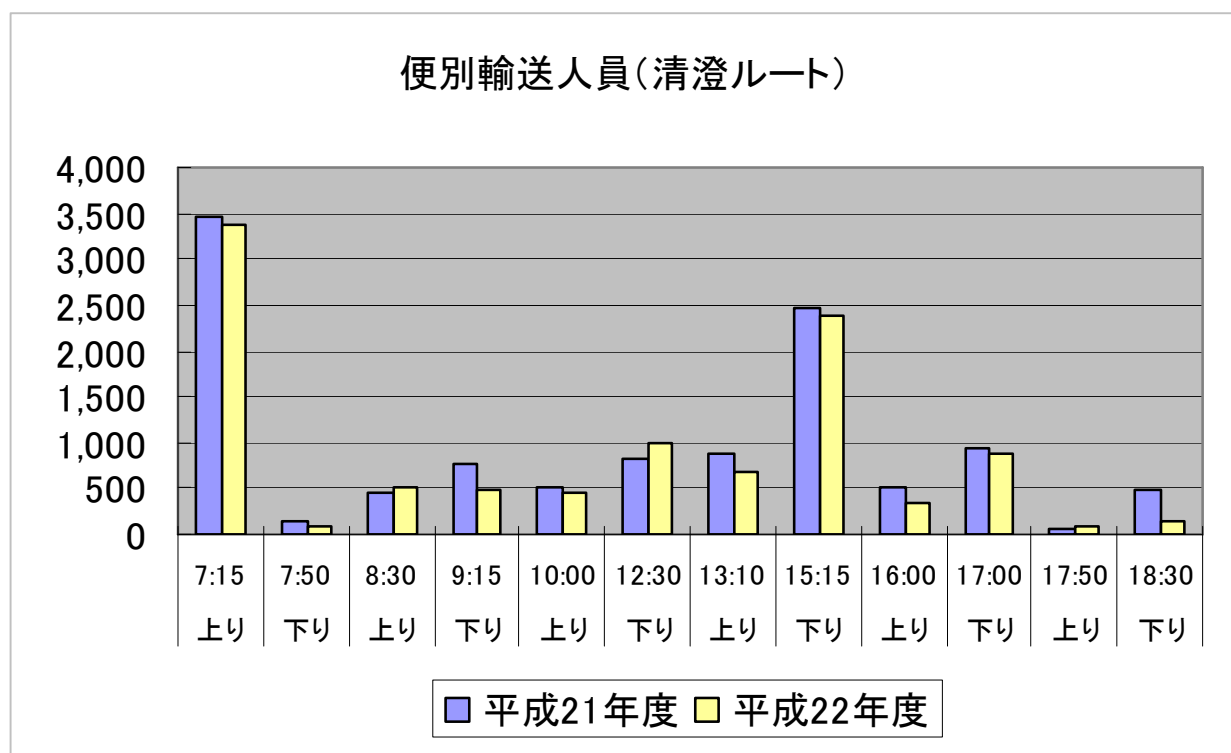
※下り：金山ダム→鴨川駅西口→天津駅前→小湊駅前→鯛の浦

上り：鯛の浦→小湊駅前→天津駅前→鴨川駅西口→金山ダム

2) 清澄ルート

本路線は、清澄寺を經由し、天津小湊支所と奥清澄を結節する路線であるが、総じて漸減傾向にある。

便別の輸送人員については、通学児童が（平成21年度：10人、平成22年度：9人）利用することから偏りが見られ、その折り返し便が特に低迷していることが見て取れる。



●輸送人員

	上り 7:15	下り 7:50	上り 8:30	下り 9:15	上り 10:00	下り 12:30	上り 13:10	下り 15:15	上り 16:00	下り 17:00	上り 17:50	下り 18:30
平成21年度	3,457	129	458	778	497	827	878	2,463	522	947	58	470
平成22年度	3,371	98	509	475	447	1,005	685	2,383	344	884	72	136
差し引き	▲ 86	▲ 31	51	▲ 303	▲ 50	178	▲ 193	▲ 80	▲ 178	▲ 63	14	▲ 334

●1便当たり輸送人員

	上り 7:15	下り 7:50	上り 8:30	下り 9:15	上り 10:00	下り 12:30	上り 13:10	下り 15:15	上り 16:00	下り 17:00	上り 17:50	下り 18:30
平成21年度	9.5	0.4	1.3	2.1	1.4	2.3	2.4	6.7	1.4	2.6	0.2	1.3
平成22年度	9.2	0.3	1.4	1.3	1.2	2.8	1.9	6.5	0.9	2.4	0.2	0.4
差し引き	▲ 0.2	▲ 0.1	0.1	▲ 0.8	▲ 0.1	0.5	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.2	0.0	▲ 0.9

※上り：奥清澄→清澄寺→天津駅前→天津小湊支所

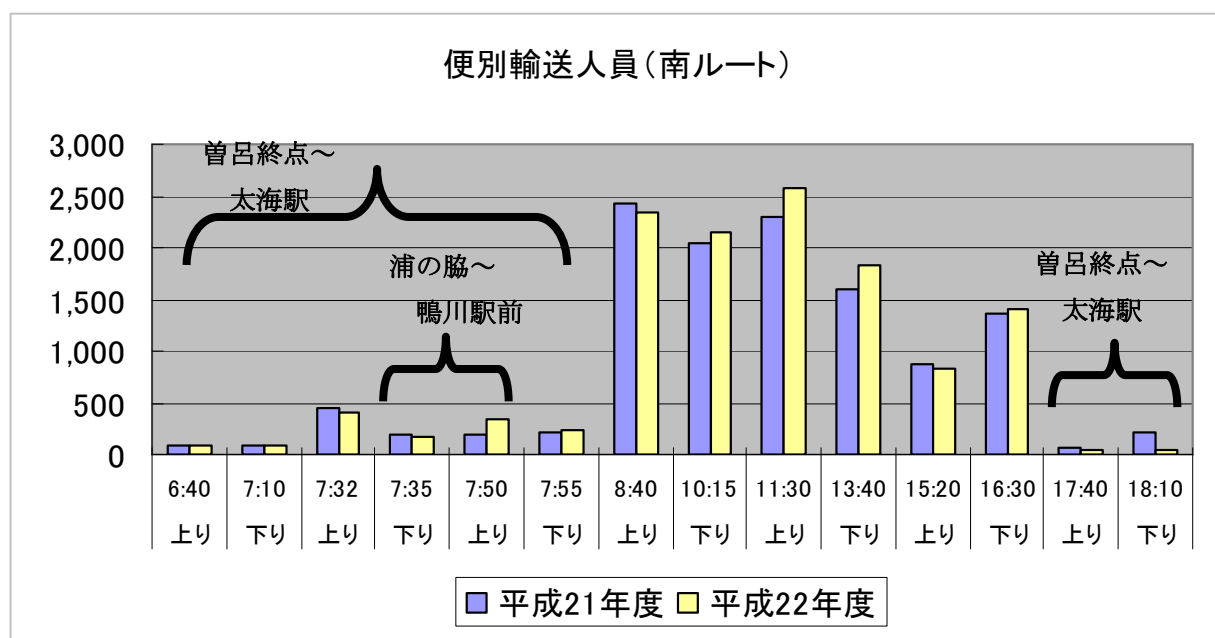
下り：天津小湊支所→天津駅前→清澄寺→奥清澄

3) 南ルート

本路線は、太海駅を經由し、曾呂終点と鴨川駅を結節する路線であるが、曾呂終点発上り 6:40 発便、7:32 発便及び 17:40 発便の計 3 便（往復）については、太海駅で折り返し運行をしており、また 7:35 鴨川駅発便については、浦の脇で折り返し運行になっている。

便別の輸送人員であるが、前述した 4 往復便を除く 3 往復便については、輸送人員も平成 21 年度と同等もしくは増加しているのに対し、その一方で曾呂終点～太海駅を運行する 3 往復便は減少傾向にある。

特に、平成 22 年度において、曾呂終点発上り 6:40 発便の往復は年間で概ね 80 人程度の利用となり、1 便当たりの輸送人員もいずれも 0.2 人/便、また 17:40 発便の往復にいたっては、年間利用者数は 40 人、1 便当たりの輸送人員も 0.1 人/便と、コミュニティバス全便のなかで最も輸送人員が低い便となっている。



●輸送人員

	上り 6:40	下り 7:10	上り 7:32	下り 7:35	上り 7:50	下り 7:55	上り 8:40	下り 10:15	上り 11:30	下り 13:40	上り 15:20	下り 16:30	上り 17:40	下り 18:10
平成21年度	79	79	456	190	193	208	2,436	2,035	2,299	1,605	877	1,364	58	204
平成22年度	76	83	397	166	336	230	2,341	2,147	2,580	1,826	835	1,409	40	40
差し引き	▲ 3	4	▲ 59	▲ 24	143	22	▲ 95	112	281	221	▲ 42	45	▲ 18	▲ 164

●1便当たり輸送人員

	上り 6:40	下り 7:10	上り 7:32	下り 7:35	上り 7:50	下り 7:55	上り 8:40	下り 10:15	上り 11:30	下り 13:40	上り 15:20	下り 16:30	上り 17:40	下り 18:10
平成21年度	0.2	0.2	1.2	0.5	0.5	0.6	6.7	5.6	6.3	4.4	2.4	3.7	0.2	0.6
平成22年度	0.2	0.2	1.1	0.5	0.9	0.6	6.4	5.9	7.1	5.0	2.3	3.9	0.1	0.1
差し引き	▲ 0.0	0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	0.4	0.1	▲ 0.3	0.3	0.8	0.6	▲ 0.1	0.1	▲ 0.0	▲ 0.4

※上り：曾呂終点→太海駅→鴨川駅西口→ふれあいセンター→浦の脇→鴨川駅前

下り：鴨川駅前→浦の脇→ふれあいセンター→鴨川駅西口→太海駅→曾呂終点